

川口市立医療センター広報紙

花水木

H a n a m i z u k i

特集

大陽がん手術を支える“手”と“眼”
—ロボット×最新AIテクノロジーの力



安行診療所は医療センターの
附属診療所として、
地域に根差した医療を提供しています



川口市立医療センター・
イメージキャラクター
みみたくれ
“よく聴き・よく診て・
よく説明する”



基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い
医療を提供します

2025
秋号
Vol.70

大腸がん手術を支える“手”と“眼” ロボット×最新AIテクノロジーの力

消化器外科 柳 舜仁



当院では、消化器がんに対する手術において、腹腔鏡や手術支援ロボットなどの最先端技術を積極的に導入し、患者さんの身体への負担を抑えながら、安全で確実ながん治療を追求しています。

その中でも最も注目されているのが、「ロボット支援手術」です。外科医の操作に応じて関節を持つロボットアームが動き、主に狭い部位で繊細にがんを切除するこの技術は、まさに外科医の“手”そのものです。ロボット手術は、骨盤の奥深くにある直腸がんの手術で、特に真価を発揮します。

当院では、直腸がんに対し、術前放射線化学療法(CRT)や、近年注目されているTNT(Total Neoadjuvant Therapy; CRTと化学療法の組み合わせ)という強力な術前治療にも積極的



Ta-TMEを執刀する今泉医師と中嶋医師に取り組んでおり、腫瘍縮小・転移の抑制といった治療成績の向上を目指しています。一方で、術前治療を受けたあとの直腸がん手術は、組織の線維化や癒着などにより手術の難度が高まることが課題となっています。

そのような手術に対し、当院ではロボットの多関節機能を活かして最も重要な直腸の切除を先行する「Pelvic First Approach(骨盤先行アプローチ)」を行っています。これにより術前治療を行う必要のある高度進行がんのような難易度の高い患者さんにおいても、安全かつ精緻ながん切除と肛門温存を両立する選択肢を広げています。こうした手術の進化は、がんの根治性だけでなく、術後の生活の質にも大きな変革をもたらす重要な進歩です。



ロボット手術の様子

このような手術においては、「どこをどう切るか」を正確に判断するための「視覚」が重要です。当院では赤外線を使った「蛍光カメラ」を導入し、尿管や尿道、血管などを光らせて可視化することで、合併症のリスクを減らしています。さらに「ICG(インドシアニンググリーン)」という薬剤を用いて血流のよい安全な腸の部分を見極めてつなぐ、術後の縫合不全(つなぎ目からの漏れ)予防の取り組みを進めています。

また、術前に撮影したCTやMRI画像を3Dホログラム化し、立体的に臓器構築を把えて、手術のシミュレーションや術中のナビゲーションに活用する取り組みも行っています。事前のイメージトレーニングは、手術の精度をさらに高めてくれます。

さらに、現在AI(人工知能)による新しい可視化技術の開発にも挑戦しています。AIが腹腔鏡カメラや膀胱鏡カメラにおいて、神経や尿管などの臓器をリアルタイムに“見える化”し、術者に

注意を促す技術で、一部教育現場では既に運用されており。

特に直腸がん手術では、術後に排尿障害や性機能障害といった後遺症が課題になります。若い患者さんにとっては、将来の生活の質に直結する極めて深刻な問題です。術後の合併症・後遺症を予防すべく、AIと蛍光技術の融合による“眼”の進化は非常に重要です。

こうした技術開発や当院での実装は、国際的にも注目されています。中でも私が開発に関わる「AIや手術ナビゲーション」は、将来の手術のあり方を変えらるるとして国内外から注目を頂いており、2025年、2026年(予定)と米国の学会に招待されています。さらに、国が支援する医療分野の国家プロジェクト(AMED)にも採択されました。

私たちは、これからもより多くの市民の皆さまに安心・安全で高精度ながん治療、低侵襲で高水準な手術を提供できるよう日々努力を重ね、決して驕ることなく技術を磨き続けます。



大腸手術チーム



安行診療所のご紹介

～皆様により添う医療を行います～



安行診療所は、安行地区の医療機関不足解消を目的に昭和62年より同地区で開業以降、地域の皆様の健康を支えています。

標榜診療科は内科と小児科で、風邪等の発熱を伴う病気から定期通院が必要な生活習慣病など、気軽に受診いただけるアットホームな診療所です。



診療所外観

血液検査や尿検査、単純レントゲン、心電図などの検査はもちろんのこと、新型コロナウイルスやインフルエンザ、溶連菌感染症の迅速検査も実施可能です。予防接種や乳児健診にも対応しています。



診察室

また、医療センターの附属組織であるため、必要時は医療センターの専門科へ紹介し、高度な検査や入院加療もスムーズにご案内できます。詳細は、下記QRコードより当院ホームページをご参照ください。



検査室

紹介状は不要ですので、皆様のご受診をお待ちしております。

また、医療センターの附属組織であるため、必要時は医療センターの専門科へ紹介し、高度な検査や入院加療もスムーズにご案内できます。詳細は、下記QRコードより当院ホームページをご参照ください。

利用時間

内科	月～金曜日	午前8時30分から午前11時 及び 午後1時から午後4時
	第1,3,5土曜日	午前8時30分から午前11時
小児科	月～木曜日	午後1時から午後4時
	金曜日	午前8時30分から午前11時 及び 午後1時から午後4時

休所日

第2,4土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

バスでお越しの場合

川口駅東口12番乗り場より

(川122)大竹経由安行出羽行き「安行川口青果市場」下車、徒歩約7分

(川125)横道経由安行出羽行き「安行診療所入口」下車、徒歩約3分

みんななかまバス 戸塚・安行循環「安行診療所入口」下車、徒歩約3分

車でお越しの場合

駐車場:13台

■問い合わせ先

施設名 安行診療所

住所 〒334-0057 川口市安行原 191-1

電話 048-294-3711(代表)

F A X 048-294-3930



ホームページQRコード



令和7年度埼玉県看護功労者 知事表彰を受賞して

副院長・看護部長 **さとう ちあき**
佐藤 千明



令和7年5月14日、埼玉県知事公館にて、私を含め21名の看護職の皆さんに、大野元裕知事より埼玉県看護功労者知事表彰を授与いただきました。そして、受賞者の代表として謝辞を述べるという、大変光栄な機会をいただきました。

この度、看護功労者知事表彰をいただきましたのは、これまでの病院スタッフ全員の努力と貢献の賜物です。特に、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックの際、病院スタッフがワンチームとなって、今まで以上に県や地域と連携し、小児・妊婦から様々な病気の重症～中等症の患者さんを多く受け入れ、治療に尽力したことが評価されたものと感謝しています。

私は看護に携わり、37年になります。看護学校卒業後川口市立医療センターに就職し、現在も同院看護管理者として働いております。これまで看護師として働き続けることができたのは、多くの患者さんと諸先輩方との出会いがあったからです。患者さんからは、病気と向きあい闘う姿勢や人生観など、人として多くの事を学ばせていただきました。諸先輩方からは、「看護のこころ」や「看護の素晴らしさ」を教えていただきました。入職当時の直属の師長からは、科学的な裏付けのあるケアを実践することが重要であることを教わり、そのことが患者さんの回復へとつながるという、看護の素晴らしさを日々体験することができました。

看護の仕事は、患者さんやご家族との関わりや体験を通して、人として成長できる素晴らしい仕事です。私は看護管理者として、今まで教え導いていただいた方々の思いを胸に、看護の素晴らしさを後輩の看護師に伝え、看護が好きな看護師を育てていきたいと思っております。そして、一生の仕事として看護職を継続してほしいと願っています。

地域包括ケアシステムの理念である『誰でも住み慣れた地域で最後まで暮らす』を実現するには、看護職が力を合わせて専門性を発揮するとともに、他職種と連携しながら看護職の役割を果たしていかなければなりません。当院看護部は、将来を見据え、川口市の皆様が安心して医療・介護を受け、そして住み続けることができるよう、看護職の「つなぐ」役割を実践してまいります。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「メッセージボックス」～みなさまからのご意見箱～

お寄せいただいた感謝の声、ご意見等を抜粋して掲載いたします。



患者さんからのご要望

外来診察で受付番号を使用していない。2～3時間またされる時もあり、いつ呼ばれるのかわからず、トイレに行くこともできない。番号表示があるのに使わないのは、改善願いたい。

(病院の回答)

メッセージボックスへご投稿いただきありがとうございます。5月1日から、新電子カルテシステムの稼働により、操作方法に個人差が出ておりますが、習熟度を統一することにより、改善していくように努力してまいりますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

患者さんからの感謝の声

24時間体制で献身的に見て頂き感謝します。

紹介状受付から手術前検診、手術の説明、手術前のサポート、術後全てが最高の満足です。全て早かった。食事も美味しく季節も感じました。沢山の方からサポートをいただき感謝します。自分も早く治るよう努力します。

(病院からの回答)

メッセージカードへご投函いただきありがとうございます。

す。また多職種への感謝のお言葉をいただき、チーム医療の団結力をさらに高めていく事への励みとなり、感謝申し上げます。より一層の充実したチーム医療の提供に努めてまいります。

患者さんからのご要望

1F内科待合室の天井からつられている電子案内板についてです。

手前の案内板の向きを、出口にむけて欲しいです。2つとも同じ向きなので、手前だけ少しナメにしていれば出口の方からでも見やすいと思います。

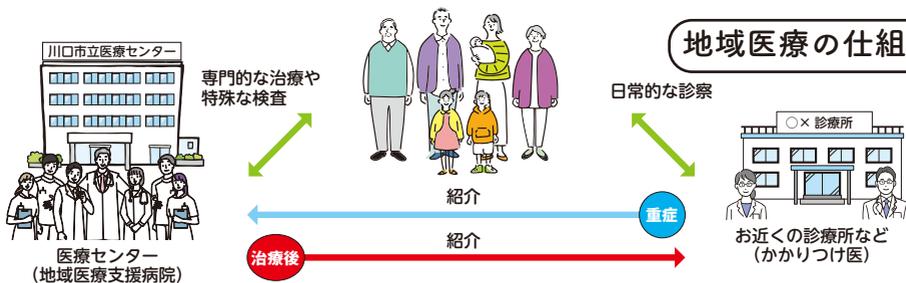
(病院の回答)

メッセージボックスにご投函いただき、ありがとうございます。

ご指摘のとおり、待合室の座席によっては電子案内板が見えづらい箇所がございましたので、手前側の電子案内板の角度を変えさせていただきました。

今後ともご意見をご参考にさせていただき、患者様がすぐしやすい環境を目指してまいります。

地域医療の仕組み



■ バス案内 (国際興業バス)

川口駅東口(8番)発 蕨駅東口(1番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行 川口市立医療センター経由 新井宿駅行
西川口駅東口(1番)発 赤羽駅東口(6番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行 新井宿駅経由 川口市立医療センター行

■ 循環バス (川口市コミュニティバス)

みんななかまバス

■ 埼玉高速鉄道をご利用の方は

埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

■ 駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)
総合受付の[5]会計受付にてパーキングカードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)
駐車台数 約600台収容

発行責任者 川口市立医療センター 病院事業管理者
編集 広報委員会
〒333-0833 川口市西新井宿180 TEL 048-287-2525 (代表)

